

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 I使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	アサヒロジスティクス花見台共配センター 新築	階数	地上4F
建設地	埼玉県比企郡嵐山町花見台7-1	構造	S造
用途地域	工業専用地域・法22条	平均居住人員	144 人
地域区分	5地域	年間使用時間	2,400 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,学校,工場,	評価の段階	
竣工年	2025年3月 予定	評価の実施日	2024年1月1日
敷地面積	11,849 m ²	作成者	
建築面積	3,549 m ²	確認日	2024年1月1日
延床面積	9,086 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE = 0.6 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★	標準計算 30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★ ① 参照値 ② 建築物の取組み ③ 上記+②以外の ④ 上記+ #VALUE! #VALUE! #VALUE! (kg-CO₂/年・m²) このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質		
Q1 室内環境 Q1のスコア= 2.5	Q2 サービス性能 Q2のスコア= 2.7	Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 1.9
LR 環境負荷低減性		
LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.0	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.2	LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 2.3

3 設計上の配慮事項		
総合		
省エネルギーや環境負荷の少ない資機材を使用し、環境配慮はもとより、室内の快適性や景観へ総合的に配慮する		その他
		窓部における小エネルギー性の高い複層ガラスの採用 駐車台数の確保
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
窓サッシ等の遮音、断熱性能の確保 冬季夏季に快適な室温を実現することが可能な設備容量の確保 外壁、屋根、床での断熱材使用	敷地入り口から建物へのアプローチは、通路幅を広くとり、スロープにて、段差を解消する。バリアフリー法の建築物移動等円滑化基準および埼玉県建築物バリアフリー条例の基準を満たすことを考慮	敷地面積に対し15%を超える緑地を確保。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
照明効率の高い照明器具の採用	化学物質を含有しない建材の使用 ハロン消火剤の不使用	敷地内で緑地を確保する。 広告塔、建物外壁の反射光の周辺地域への影響を抑える

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
アサヒロジスティクス花見台共配センター 新築工事

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

 欄に数値またはコメントを記入
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート						
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質						2.3
Q1 室内環境			0.31	-	-	2.5
1 音環境		1.8	0.15	-	-	1.8
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40	3.0	-	
1.2 遮音		1.0	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能		1.0	0.60	3.0	-	
2 界壁遮音性能		1.0	0.40	3.0	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		1.0	0.00	3.0	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		1.0	0.00	3.0	-	
1.3 吸音		1.0	0.20	3.0	-	
2 温熱環境		2.2	0.35	-	-	2.2
2.1 室温制御		2.2	0.50	-	-	
1 室温		3.0	0.38	3.0	-	
2 外皮性能		3.0	0.25	3.0	-	
3 ゾーン別制御性		1.0	0.37	-	-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20	3.0	-	
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	-	
3 光・視環境		2.8	0.25	-	-	2.8
3.1 屋光利用		2.4	0.30	-	-	
1 屋光率		2.0	0.60	3.0	-	
2 方位別開口		-	-	3.0	-	
3 屋光利用設備		3.0	0.40	3.0	-	
3.2 グレア対策		3.0	0.30	-	-	
1 屋光制御		3.0	1.00	3.0	-	
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	-	
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	-	
4 空気質環境		3.0	0.25	-	-	3.0
4.1 発生源対策		3.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質		3.0	1.00	3.0	-	
4.2 換気		3.0	0.30	-	-	
1 換気量		3.0	0.33	3.0	-	
2 自然換気性能		3.0	0.33	3.0	-	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	3.0	-	
4.3 運用管理		3.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御		3.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	2.7
1 機能性		2.6	0.40	-	-	2.6
1.1 機能性・使いやすさ		2.3	0.40	-	-	
1 広さ・収納性		3.0	0.33	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.33	3.0	-	
3 バリアフリー計画		1.0	0.34	-	-	
1.2 心理性・快適性		2.6	0.30	-	-	
1 広さ感・景観		3.0	0.34	3.0	-	
2 リフレッシュスペース		4.0	0.33	-	-	
3 内装計画		1.0	0.34	-	-	
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性		2.9	0.30	-	-	2.9
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性		2.8	0.20	-	-	
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3 電気設備		3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備		2.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			2.7	0.30	-	-	2.7
3.1 空間のゆとり			3.0	0.30	-	-	
	1	階高のゆとり	3.0	0.60	3.0	-	
	2	空間の形状・自由さ	3.0	0.40	3.0	-	
	3.2 荷重のゆとり		2.0	0.30	3.0	-	
	3.3 設備の更新性		3.0	0.40	-	-	
	1	空調配管の更新性	3.0	0.20	-	-	
	2	給排水管の更新性	3.0	0.20	-	-	
	3	電気配線の更新性	3.0	0.10	-	-	
	4	通信配線の更新性	3.0	0.10	-	-	
	5	設備機器の更新性	3.0	0.20	-	-	
	6	バックアップスペースの確保	3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.39	-	-	1.9
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			1.5	0.30	-	-	1.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			1.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	2.8
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.0
1 建物外皮の熱負荷抑制			-	-	-	-	-
2 自然エネルギー利用			3.0	0.13	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.76	3.4	0.63	-	-	3.4
4 効率的運用			2.0	0.25	-	-	2.0
	集合住宅以外の評価		2.0	1.00	-	-	
	4.1	モニタリング	3.0	0.50	-	-	
	4.2	運用管理体制	1.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価		-	-	-	-	
	4.1	モニタリング	3.0	-	-	-	
	4.2	運用管理体制	3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.2
1 水資源保護			3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
	1	雨水利用システム導入の有無	3.0	0.70	-	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無	3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.1	0.60	-	-	3.1
	2.1 材料使用量の削減		3.0	0.10	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.8	0.20	-	-	3.8
	3.1 有害物質を含まない材料の使用		5.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避		3.3	0.70	-	-	
	1	消火剤	4.0	0.33	-	-	
	2	発泡剤(断熱材等)	3.0	0.33	-	-	
	3	冷媒	3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.3
1 地球温暖化への配慮			-	-	-	-	-
2 地域環境への配慮			2.1	0.50	-	-	2.1
	2.1 大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善		1.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.5	0.25	-	-	
	1	雨水排水負荷低減	3.0	0.25	-	-	
	2	汚水処理負荷抑制	3.0	0.25	-	-	
	3	交通負荷抑制	4.0	0.25	-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制	4.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			2.5	0.50	-	-	2.5
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
	1	騒音	3.0	0.33	-	-	
	2	振動	3.0	0.33	-	-	
	3	悪臭	3.0	0.33	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		1.6	0.40	-	-	
	1	風害の抑制	1.0	0.70	-	-	
	2	砂塵の抑制	3.0	-	-	-	
	3	日照阻害の抑制	3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制		3.7	0.20	-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	4.0	0.70	-	-	
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30	-	-	

CASBEE埼玉県

重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	アサヒロジスティクス花見台共配ビル	BEE	0.6	BEEランク	★★
------	-------------------	-----	-----	--------	----

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO ₂ の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		
0.0	+	1.3	=	1.3
				
重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上  	非常によい 6.8以上   	すばらしい 8.0以上    	

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO ₂ の削減		スコア平均	0.0
＜CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア＞			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	0.0
＜配慮した内容を記述＞特になし			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	1.3
＜CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア＞			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	1.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	2.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	1.0
既存緑地をそのまま保存			

 : 入力欄